

東日本大震災に係る支援〔知事定例記者会見（2011年4月4日（月））資料〕

- 1 山元町・亶理町現地調査報告
- 2 被災者登録窓口の設置状況
- 3 児童福祉関係職員の派遣
- 4 兵庫県からの職員等派遣状況
- 5 被災地支援の状況（平成23年4月3日現在）

## 山元町・亘理町現地調査報告

1 日 時 平成 23 年 4 月 2 日 (土) 11:00 ~ 16:00

### 2 調査箇所

- (1) 山元町 町役場、中央公民館 (避難所)  
山元町社会福祉協議会、体育文化センター (物資集積所)
- (2) 亘理町 町役場、町民体育館 (物資集積所・ボランティアセンター)  
亘理高校 (避難所)

### 3 被災状況等 (H23.4.2 am10:00 現在)

#### (1) 山元町

人的被害

死者 542 人、行方不明者調査中 (人口 17,095 人)

避難所状況

避難所数 9 箇所、避難者数 3,440 人 (人口比 20.1%)

ライフライン

電気：ほぼ復旧、ガス：プロパン供給、水道：断水中

#### (2) 亘理町

人的被害

死者 229 人、行方不明者 66 人 (人口 35,703 人)

避難所状況

避難所数 6 箇所、避難者数 2,219 人 (人口比 6.2%)

ライフライン

電気：復旧、ガス：プロパン供給、水道：復旧

### 4 確認事項

#### (1) 山元町 (11:00 ~ 13:00)

山元町役場 (山元町総務課総務班兼安全対策班長 菅野氏に確認)

- ・ 職員は 4 名死亡。
- ・ 元々行革で職員数が減っており、災害対応に追われ本来業務に手が回らない。
- ・ 各避難所に町職員を 2~3 人配置し、他府県の自治体職員の応援も得ながら避難所の運営を行っている。
- ・ 避難所の運営は避難住民自らが行っており、ボランティアは町外からはほとんど入ってきていない。
- ・ 食料や生活物資については、量的に充足しているが、水道が復旧していない。
- ・ ゴミ、し尿の処理はめどが立っている。
- ・ 各避難所に対する県外への二次避難に関する情報提供は十分にできていない。
- ・ 仮設住宅第 1 次割当分 100 戸の着工が始まった。第 2 次の割当も 100 戸。4/1 から受付開始。
- ・ 被災証明の申請受付も開始した。証明書の発行は 4 月中 ~ 下旬になる見込み。

中央公民館（避難所）

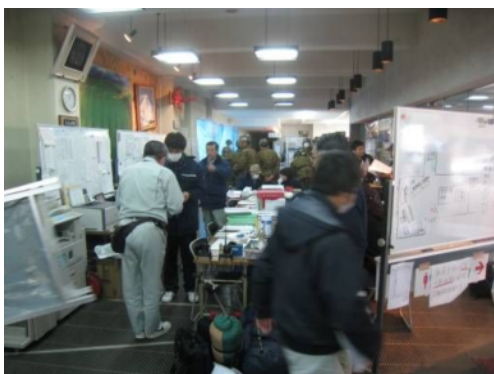
- ・ 衛生状況はインフルエンザが発生することがあったが、現在は落ち着いている。
- ・ 施設のスペースを目一杯使って避難者を受入れているため、仕切りを設けることもできず、居住環境は厳しい。

山元町社会福祉協議会（支援派遣の寝屋川市社会福祉協議会 濱吉氏に確認）

- ・ 避難所運営は町職員が中心になって行っている。
- ・ ボランティアのニーズ把握及び受入体制がまだ整っていない。

体育文化センター（物資集積所）

- ・ 物資の受入スペースはほぼ一杯の様子。



町役場内



避難所内



体育文化センター（物資集積所）



山元町内被災状況

(2) 亘理町（14:00～16:00）

亘理町役場（亘理町企画財政課班長 吉田氏に確認）

- ・ 役場庁舎が被災し使用不可。プレハブで災害対策本部設置。職員は1名死亡。
- ・ 避難所運営については町職員を配置している。宮城県や他府県の人的支援により、マンパワーは当面足りている。
- ・ 町内は水、ガス（LP）、電気とも使用可。
- ・ 仮設住宅100戸着工。工業団地等を活用して、2千戸程度建設したい。
- ・ 現在6箇所の避難所を3～4箇所に集約する予定。
- ・ がれき処理について、今週中に各避難所に説明し被災者の希望を確認。
- ・ 各避難所に対する県外への二次避難については、宮城県からの情報提供を元に避難者に意向調査を行っている。
- ・ 下着、靴下、調理用手袋、食器用洗剤、学用品等が不足している。

町民体育館（物資集積所・ボランティアセンター）

- ・ 震災翌週にボランティアセンター開設。現在、県内外から 146 人のボランティアが集まっている。県外ボランティアは関東からが多い。
- ・ ボランティアの仕事の 8 割は家の中の泥出しや家具移動、残りの 2 割は被災者の話し相手や在宅被災者への物資運搬。
- ・ ボランティアセンターの運営を社協職員が行っているが、社協の日常業務ができないので、いずれはセンターの運営もボランティアに託したい。
- ・ 物資は量的には十分にあり、スペースの関係上搬入をお断りするケースもあるが、一方で被災者のニーズが細かくなっている。
- ・ 食料に偏りがあり、カルシウム不足等栄養バランスの問題が出ている。

巨理高校（避難所）

- ・ 避難者数は約 600 人。町職員 15 名で運営している。
- ・ 水道、ガス、電気いずれも使用できる。物資も当面は足りている。
- ・ 衛生状態も自衛隊の医療チームの巡回等により今のところ大きな問題はない。
- ・ 世帯ごとの仕切りを設けるスペースが無く、居住環境は良くない。
- ・ 洗面、洗濯ができる施設がほしい。



町災害対策本部



ボランティアセンター



物資集積所



避難所内